

CLIによる1852 APのMobility Expressへの変更

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ステップ 1: Mobility ExpressソフトウェアAIR-AP1850-K9-ME-8-10-112-0.zipをダウンロードして、ファイルを解凍します](#)

[ステップ 2: 1852にインターネットプロトコル\(IP\)アドレスがあることを確認します](#)

[ステップ 3: 変更前、APはMobility Expresswayについて何も言及していない](#)

[ステップ 4: コマンドを実行し、ファイル名としてap1q4を使用する](#)

[ステップ 5: APがリブートしてから数分後に、Cisco Wizard Configuration Toolが起動します](#)

[手順 6: 図に示すように、10.10.1.232はMobility Expressの管理IPアドレスとして割り当てられ、グラフィカルユーザインターフェイス\(GUI\)へのアクセスに使用されます](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Lightweightアクセスポイント(LWAP)1852をMobility Express(ME)に変換する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- コンソールケーブルによるAPへのCLIアクセス
- トリビアルファイル転送プロトコル(TFTP)サーバ。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づくものです。

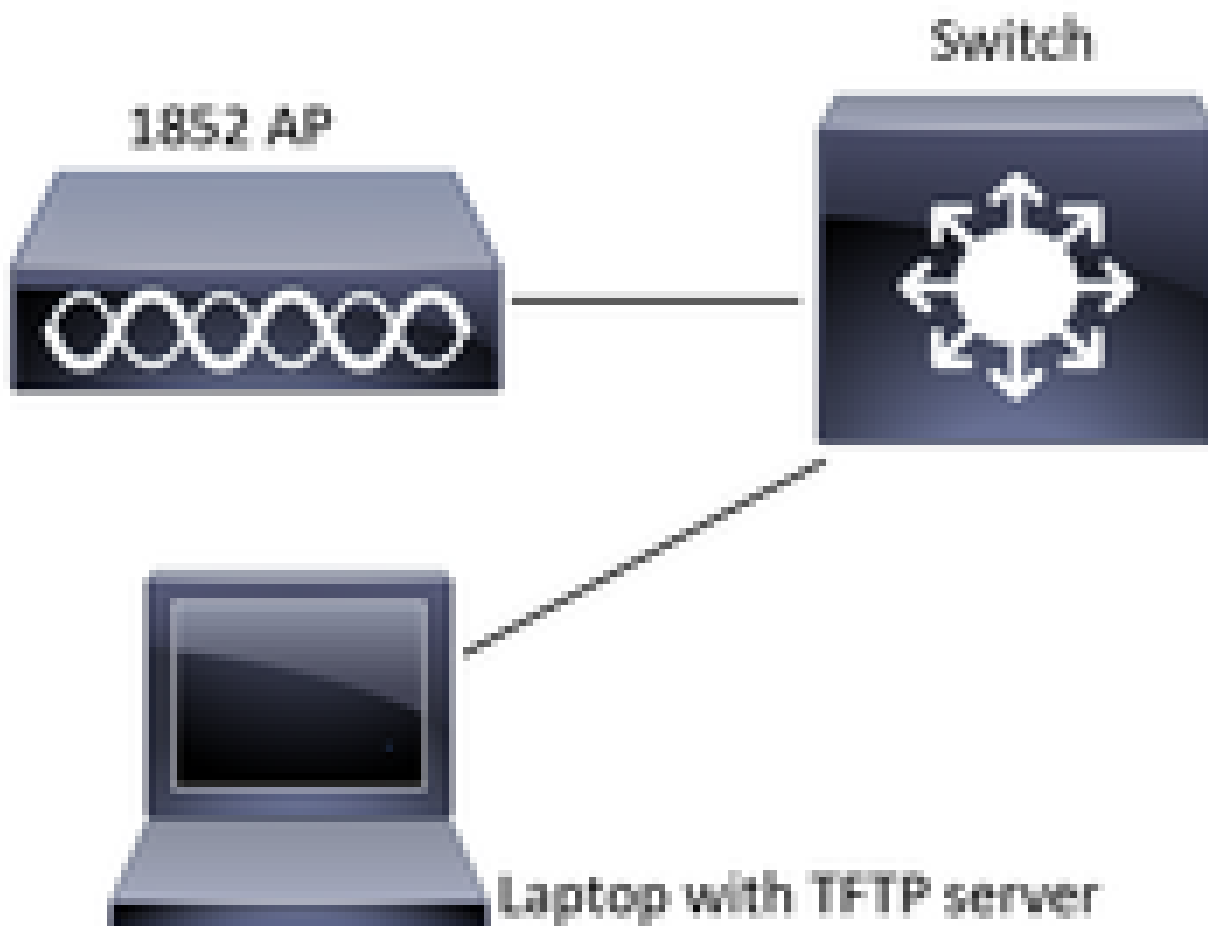
- 1852I AP
- TFTP サーバ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま

す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

ネットワーク図



ステップ 1 : Mobility ExpressソフトウェアAIR-AP1850-K9-ME-8-10-112-0.zipをダウンロードして、ファイルを解凍します

ステップ 2 : 1852にインターネットプロトコル(IP)アドレスがあることを確認します

```
<#root>
```

```
CLI:
```

```
#
```

```
sh ip int br
```

```
gateway-ip : 10.10.1.254  
gateway-mac : 10:05:CA:88:DB:91
```

Interface	IP-Address	Method	Status	Protocol
wired0	10.10.1.230	DHCP	up	up
wired1	unassigned	unset	administratively down	down
wifi0	unassigned	unset	administratively down	down
wifi1	unassigned	unset	administratively down	down

ステップ 3 : 変更前、APはMobility Expresswayについて何も言及していない

```
<#root>
```

```
AP#
```

```
sh version
```

Restricted Rights Legend

```
□!  
□!  
□!  
□cisco AIR-AP1852I-B-K9 ARMv7 Processor rev 0 (v71) with 997136/793520K bytes of memory.  
□Processor board ID KWC192905FW□  
AP Running Image : 8.10.112.0  
□Primary Boot Image : 8.10.112.0□  
Backup Boot Image : 8.5.135□  
2 Gigabit Ethernet interfaces□  
2 802.11 Radios□  
!
```

ステップ 4 : コマンドを実行し、ファイル名としてap1g4を使用する

```
<#root>
```

AP#

```
ap-type mobility-express tftp://10.10.1.224/ap1g4
```

[*] Reboot required after config change as AP needs to boot up with ME image

[*]

[*] Rebooting AP. Need to boot up the AP with ME image...

ステップ 5 : APがリブートしてから数分後に、Cisco Wizard Configuration Toolが起動します

```
Cryptographic library self-test....
```

□!

□!

```
Cisco AireOS Version 8.10.112.0  
Initializing OS Services: runok  
Initializing Serial Services: ok  
Initializing Network Services: ok  
!
```

```
!  
!  
!  
!
```

(Cisco Controller)

Welcome to the Cisco Wizard Configuration Tool

Use the '-' character to backup

Would you like to terminate autoinstall? [yes]: yes

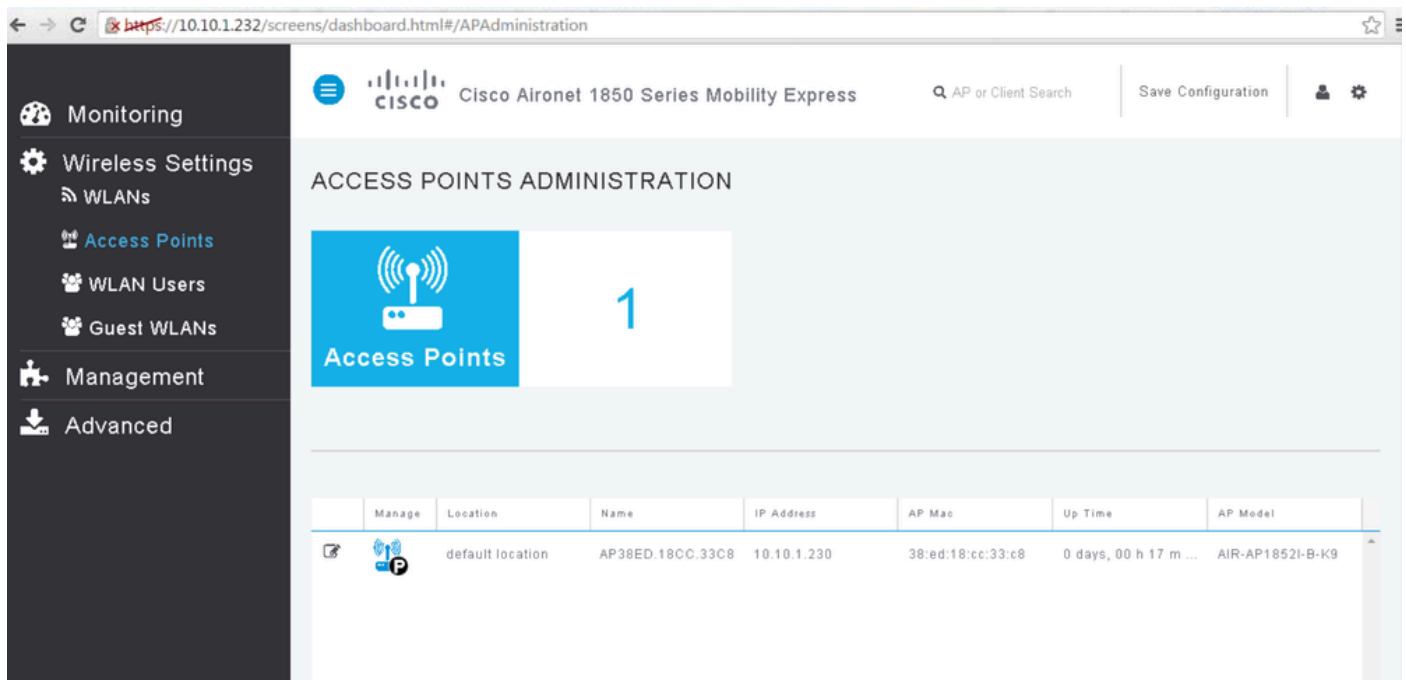
System Name [Cisco_cc:33:c0] (31 characters max):

Enter Administrative User Name (24 characters max):

Enter Administrative Password (3 to 24 characters):

手順 6 : 図に示すように、10.10.1.232はMobility Expressの管理IPアドレスとして

割り当てられ、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセスに使用されます



確認

次に、この設定で使用できる検証手順を示します。

show versionコマンドを使用して、APがMEに変換されたことを確認します。

```
<#root>
```

```
AP#
```

```
sh version
```

```
Restricted Rights Legend
```

```
!  
!
```

```
cisco AIR-AP1852I-A-K9 ARMv7 Processor rev 0 (v71) with 996240/310216K bytes of memory.
```

```
Processor board ID KWC1929066D
```

```
AP Running Image : 8.10.112.0
```

```
Primary Boot Image : 8.10.112.0
```

```
Backup Boot Image : 8.5.135.0
```

```
Primary Boot Image Hash:
```

```
Backup Boot Image Hash:
```

```
AP Image type : MOBILITY EXPRESS IMAGE
```

```
AP Configuration : MOBILITY EXPRESS CAPABLE
```

```
2 Gigabit Ethernet interfaces
```

```
2 802.11 Radios
```

```
!  
!
```

トラブルシュート

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

- APとTFTPサーバの間にネットワーク接続があるかどうかを確認します。
- 正しいファイルが使用されているかどうかを確認します。

関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。